

## “マイコン組み込み”の更なる発展を目指して

西が丘時代に中心的だった技術としては、なんといっても“マイコン”をおいて他にないでしょう。1970年代にマイコンが初めて誕生し、80年代にパソコンへと発展し、90年代はWindowsの登場とともにビジネス用途での採用が始まりました。2000年からは“組み込み”と名を変えて再びマイコンが注目されだし、カメラや携帯電話、車、家電、産業用機器まで、ありとあらゆるものにマイコンが組み込まれていきました。

この間、技術相談はもちろんのこと、基盤研究や共同研究、種々の研究会などの事業を通して、企業の方々とともに製品開発に挑戦してまいりました。また、これと並行して“組み込みシステム”の高信頼化への取り組みも進めました。マイコン化して便利になった機器類が身の回りに溢れだし、無くてはならない存在になってきたと感じたからです。“フォールトトレラント”とか“ディペンダブル”などというテーマで研究し、壊れない(実際には壊れて

いても、予備機が肩代わりするので、装置としての機能は低下しない) 組み込みシステムを追求してきました。

そして今日では、マイコンですら手作りでできる時代になりました。FPGA という IC の登場により、目的に合う機能や性能のマイコンを、1つから自作することが可能となったのです。さらには、FPGA の内部データが見えない、つまり知的財産(設計ノウハウ)が守れるというメリットがあるのです。こんな素晴らしい技術を皆さんにご紹介しない手はありません。いろいろなレベルの講習会を多数開催して、できるだけ多くの企業の技術者に伝授しようと奮闘してきました。情報技術グループでは、現在も発展的に展開中です。

新本部に移転すると、最新のパソコン教室が利用できるようになるため、益々高度な“マイコン組み込み”をテーマにしたご支援が可能となります。最新技術と高度な支援に、どうぞご期待ください！



写真1  
製品開発の風景  
(技術指導風景)



写真2  
高信頼化の追及 (基盤研究の成果)



写真3  
FPGAは知的財産を守る (共同研究の成果)

情報技術グループ

坂巻 佳壽美 TEL 03-5530-2111

E-mail:sakamaki.kazumi@iri-tokyo.jp